

広 報

こうさ

【こうさの話題】町総合保健福祉センター「ハローBABY！」開催

子育ての楽しさと命の大切さを学ぼう！

CONTENTS

- 02・特集 「こうさてんプロジェクト」甲佐町あるもの講座を開催
- 04・こうさの話題 甲佐中学生徒が「ハローBABY！」子育て体験
- 06・町からのお知らせ 熊本地震による医療費一部負担金の免除期限
- 10・あゆみだより 地域の介護予防活動のひろがり
- 20・Kosa Style 卓球・柴田涼成くん（糸田区・白旗小2年）

No. 578

September 2017

9



■地域の「あるもの」発見

8月23日(水)は大井出川沿いの市街地の魅力を探して、現地散策。古民具を保管する民家への訪問したり、街中を流れる川を活用する企画に頭を巡らせたりしました。



■古民家を活用する企画案

築139年を誇る古民家・旧西村民俗資料館(仁田子)を町内外での幅広い交流と地域活性化の拠点として活用するアイデアについても、プロジェクトで協議します。



「甲佐町古民家こうさてんプロジェクト」あるもの発見講座 地域の宝と誇りをつないで魅力ある交流拠点を

町では、町内外の皆さんの交流を促して地域の活性化を図り、空き家対策や商店街のにぎわい創出、移住定住や若者の交流人口の増加、本町か

らの情報の発信などの町の各種施策を推進するための企画案をみんなで考える「甲佐町古民家こうさてんプロジェクト」に取り組んでいます。



■古民家視察と企画案の発表

古民家「山ぼうしの樹」(糸田)を視察して、邸内で絵地図の制作と企画案の検討に取り組み、各班で発表しました。



■現地散策と絵地図制作

地元の方の案内を受けて現地散策し、地域の宝や魅力を発掘します。8月9日(水)は宮内地区を中心に地域を巡り、散策で発見した魅力やアイデアを基に絵地図を制作して発表しました。



●地域の交流と活性化を企画

「甲佐町古民家こうさてんプロジェクト」は、交流人口の増加を促して地域の活性化を図る企画について、町内外の皆さんが幅広く参加して考える取り組みです。

空き家対策や商店街のにぎわい創出、町外からの移住定住の促進や若者の交流人口の増加、本町の魅力についての情報発信など、本町の抱える課題について、フィールドワーク(現地散策)とワークショップ(全員参加型の話し合い)を組み合わせて、課題解決を目指すアイデアを企画します。企画を協議する中で、古民家である旧西村民俗資料館(仁田子)

を活用して地域の活性化につなげるアイデアについても、幅広く意見や考えを求めます。

●現地散策により魅力を発掘

プロジェクトは、「あるもの発見講座」(8月)と「ワークショップ」(9月)で構成されています。「発見講座」は、地元の皆さんの説明などを聴きながら地域を散策し、魅力あるものを参加者のアンテナで発見し、発見した地域の宝や誇り、風土や文化などをグループごとに絵地図として制作して企画案を発表します。「ワークショップ」では、「発見講座」で作成した絵地図や企画案などをふまえて、参加者のさまざまな意見や考えを合わせて具体的な企画案を練り上げます。

●絵地図を基に企画案を発表

8月9日(水)・23日(水)に開催した「発見講座」には、町内外から延べ48人が参加しました。9日(水)は宮内地区を中心にフィールドワークを実施。緑川や甲佐神社、民俗資料が展示されている宮内社会教育センターなどを訪問し、旧西村民俗資料館も見学しました。23日(水)は大井出川に沿って市街地を散策し、現在も古民具を保管する民家なども訪問。絵地図づくりは古民家「山ぼうしの樹」(糸田)を視察して制作し、グループごとに企画発表しました。

■お問い合わせ先

町企画課 ☎096-234-1154



本町の復興を願って

「フェアリーフラワー」が義援金を贈呈

7月28日（金）町役場町長室で、「フェアリーフラワー」の皆さんが本町に震災に係る義援金を贈呈されました。

同グループは東京を拠点として活動するクラシック音楽ユニットで、熊本地震の復興支援活動などで活躍。本町の応急仮設住宅での復興コンサートや、7月の第66回あゆまつりのステージイベントに出演するなど、本町の復興を支援されています。

本町に本籍地を置く赤星鮎美さん（写真右）もメンバーとして活動されています。



▲奥名町長に義援金を贈呈するフェアリーフラワーの皆さん

地域で中学生の学力向上を

甲佐中学校で「甲佐町未来塾」が開塾



▲地域の中学生の学力の向上と地域の教育力の向上を目指して、甲佐中学校で開塾された「甲佐町未来塾」の授業の様子



◀小刀やなたを使って製作に取り組み子どもたち

自然に触れて心豊かに

野外キャンプ「あつまれ子どもたち」

8月17日（木）～18日（金）上揚の宮内集会所で、「あつまれ子どもたち」が開催されました。同イベントは、野外体験を通して自然に親しむとともに、共同生活に取り組むことで団体行動の大切を考えることを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克美会長）と町教育委員会が主催。町内の小学生18人が参加しました。子どもたちは1泊2日の体験学習で、講師の指導の下、小刀などを使って弓矢作りや水鉄砲作りを取り組んだりして、豊かな自然の中で活発に活動しました。

▼1歳児教室で赤ちゃんに触れ合い、保護者と交流する甲佐中生徒たち



やおむつ交換などを実習。同日に開催されていた1歳児教室に合流して、乳幼児と触れ合いつつ、身体計測などを手伝ったり、保護者に育児に関する質問をしました。体験交流の後、生徒たちは自分の母子手帳を振り返りながら、出産までの成長などについてDVDを観賞して学習。最後に、保護者へ感謝のメッセージを認めました。

子育ての楽しさを学習

甲佐中生徒が「ハロ-BABY！」で体験

8月4日（金）町総合保健福祉センターで、「ハロ-BABY！」が開催されました。同イベントは、思春期の中学生に赤ちゃんとの触れ合いを通して親子の愛情や子育ての楽しさや苦労、命の尊さなどを体験とともに考えてもらうことを目的に、同センターが主催。甲佐中学校（井上幸三校長229人）の生徒25人が参加し、赤ちゃんに関する学習と1歳児教室での触れ合い体験などを行いました。赤ちゃんに関する学習では、同センターの保健師の指導で、赤ちゃん人形を使って抱っこ

健康増進で地域活性化を

中早川区がコミュニティ助成事業を活用

中早川区（谷頭実区長71世帯）が「コミュニティ助成事業」を活用して、同区公民館の備品を整備しました。

同助成事業は、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図ることが目的。同区では公民館のエアコンなどを整備することで、老人会が取り組む健康づくりなどの交流を通して地域の活性化を目指しています。

整備経費は（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業の受託事業収入を財源として実施する同助成事業で賄われました。



▲備品が整備された公民館で健康づくりに励む区民



◀網を手に井手に入り魚とりを楽しむ子どもたち

川での魚とりに挑戦

8月1日（火）乙女小「まつやま塾」

8月1日（火）、乙女小「まつやま塾」が魚とり体験を開催しました。同塾は、放課後に地域住民の参加協力を得て体験学習などに取り組み、地域社会で子どもたちを大きく育てることを目的に、町教育委員会が主催。主に毎週水・金曜日に、同小で活動しています。魚とり体験は、麻生原運動公園近くの井手で実施。網やざるを手にした子どもたちは勢いよく川へ入り、水しぶきを上げながら魚の影を追いました。取った魚はバケツやビニールに入れて大きさを競うなど、自然体験を楽しみました。

国民健康保険・後期高齢者医療

熊本地震による医療費一部負担金の免除期限



手続きは町住民生活課まで

医療費の一部負担金（窓口負担）の免除期限は9月30日（土）

熊本地震により被害を受けた国民健康保険または後期高齢者医療保険の被保険者で、一定の要件に該当する場合、医療機関などでの一部負担金（窓口負担）を免除していただきますが、その免除期間は9月30日（土）までです。

免除対象に該当する人は、「一部負担金免除証明書」の申請およびすでに支払った一部負担金の還付申請ができます。

免除期限 9月30日（土）

免除対象者 国保または後期高齢者医療の被保険者で、熊本地震により次のいずれかの要件に該当する方です。

- ・ 住家の全半壊、全半焼またはこれに準ずる被災をした被保険者
- ・ 主たる生計維持者が死亡し、または重篤な傷病を負った被保険者
- ・ 主たる生計維持者の行方が不明である被保険者
- ・ 主たる生計維持者が業務を廃止、休止した被保険者
- ・ 主たる生計維持者が失職し、現在収入がない被保険者

申請に必要なもの

① 国保または後期高齢者医療被保険者証、② 災証明書、③ 印かん

免除対象被保険者の一部負担金の還付（払い戻し）について

免除証明書の交付対象となる人で、地震発生以降に支払った医療費がある場合は、還付（払い戻し）を受けることができます。

還付申請の対象となる医療費

平成28年4月14日（木）から平成29年9月30日（土）までに医療機関などで支払った医療費など

申請に必要なもの ① 領収証、② 災証明書、③ 国保または後期高齢者医療被保険者証、④ 通帳などの振込口座が分かるもの（国保被保険者は世帯主の口座、後期高齢者医療被保険者は被保険者本人の口座）、⑤ 印かん

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線106)

国民年金

国民年金保険料の追納制度をご利用ください



詳しくは町住民生活課にお問い合わせください

保険料を追納すると年金の受取額を増やすことができます

国民年金保険料の免除、納付猶予、学生納付特例の承認を受けた期間がある場合、保険料を全額納めた場合と比べ、65歳から受けられる老齢基礎年金の受け取り額が少なくなります。

しかし、免除などの承認を受けた期間については、10年以内であればさかのぼって納めることができる追納制度があり、将来受け取る老齢基礎年金額を増やすことができます。

また、社会保険料控除により、所得税・住民税が軽減されます。該当する期間がある場合には、保険料を追納されることをお勧めします。

追納制度に関する注意点

追納制度を活用して保険料を納められる場合には、次の4点にご注意ください。詳しくは、年金事務所にお問い合わせください。

- ① 保険料の追納を行う場合には、年金事務所への事前の申し込みが必要です。
- ② 年金機構から発行される納付書によりお支払いができます（口座振替やクレジットカード納付はできません）。
- ③ 承認された期間のうち、原則として、古い月の保険料から納付することになります。
- ④ 一部免除（半額、4分の1、4分の3）を受けた期間は、納付すべき保険料を納めていなければ、追納することはできません。
- ⑤ 承認を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降の追納の場合、当時の保険料額に一定の加算額が上乘せされますので、早めの追納をお勧めします。

お問い合わせ先

熊本東年金事務所 ☎096-367-2503

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線104)

道路

公道と集落を結ぶ生活道路で、ある私道の復旧を支援

支援内容

被災した集落などにおける住民の生活環境の早期回復を図るため、公道と集落を結ぶ生活道路である私道の復旧に係る経費の一部を支援します。

※生活道路とは？

主として地域住民の日常生活に利用される道路をいいます。

支援対象経費

支援対象

被災した生活道路である私道（民有地）で、次のすべての要件を満たすものが対象となります。なお、公簿上の地目の種別は問わないこととします。

・ 一般交通の用に供しているもの

私道復旧事業についてのお知らせ



詳しくは町建設課にお問い合わせください

であること

・ 公道に接続するものであること

・ 幅員がおおむね1.8m以上あること

・ 所有者の異なる住宅が連担して2戸以上建ち並んでいるものであること

・ 集落などで維持管理しているものであること

※私道（民有地）とは？

個人または民間団体が所有・管理している土地を道路として利用している区域をいい、実態が道路として利用されているものであれば、公簿上の目的は問いません。

支援対象者

支援対象の私道を管理する自治会または集落など

支援対象経費

支援対象の私道の被災箇所の原形復旧に要する経費

（原形復旧に要する経費であるため、道路の拡幅工事は対象になりません）

※復旧工事費50万円未満のものを除きます。

▼ 交付基準

・ 補助率 支援対象経費の2分の1以内

・ 補助上限 1件あたり1,000万円

町建設課 ☎096-234-1183(内線163)

男女共同参画

「おとう飯（はん）始めよう」キャンペーンの実施について

6歳未満の子どもを持つ夫の週平均1日あたりの家事・育児関連時間は、平成23年時点で67分と欧米と比べて短い状況にあります。平成27年閣議決定の「第4次男女共同参画基本計画」には、67分を平成32年に2時間30分とする数値目標が掲げられています。

6月の「女性が輝く社会づくり本部」において決定された「女性活躍加速のための重点方針2017」の中でも、「男性の家事・育児等への参画についての国民全体の気運醸成」を行うこととされたところと一致します。

これらを踏まえ、内閣府男女共同参画局では、子育て世代の男性

男性の皆さん、料理にチャレンジしましょう



始めようキャンペーン

固定観念にとらわれない生き方を

の料理への参画促進を目的とした「おとう飯（はん）始めよう」キャンペーンが実施されることになりました。

キャンペーンは、料理に関する知識やスキルのギャップを埋めるきっかけとなるイベントを実施する予定としており、その後、「おとう飯（はん）」のコンセプトが活用されることで男性が料理に参画する気運が醸成されることを狙いとしています。

「おとう飯（おとうはん）」とは？

男性が料理をするにあたっては、知識や技術がなくて自分には作れない、家族のために作る料理は栄養バランスや盛り付けなどに気をつかい立派でなければいけない、料理を作ってみたものの家族に不評だったため作るのをやめてしまったなど、技術的、心理的ハードルがあると思われがちです。

そこで、男性の料理参画への第一歩として、簡単に手間を掛けず、多少見た目が悪くても美味しい料理を「おとう飯」と命名しました。

詳しくは、内閣府男女共同参画局ホームページをご覧ください。

▼ 内閣府男女共同参画局へ
http://www.gender.go.jp/

町総務課 ☎096-234-1140(内線223)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶「町民大学」 「グラウンドゴルフ大会」

●日時
9月26日(火)午前8時30分集合、午前8時45分開始

●場所
グリーンパル甲佐

●参加料
300円(スティック借用の場合100円が必要です)

●入賞
男女各5位まで表彰
※飲み物などは各自ご準備ください。
※雨天の場合は中止となります。

●申込み締め切り
9月20日(水)

●公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

イザイの中川有紀さんが「公民館活動と地域づくり」と題して講演。中川さんは「これまでの公民館講



▲町生涯学習センターで開催された郡公民館連合会研修会

生25人が参加し「パルンスライム」と「プラホ

み、息を入れて風船のように膨らますことができるのです。それぞれ好きな色に着色して作りしました。「プラホビー」は、キャラクターや絵をプラスチック板にマジックで書いて、穴を開けてトースターで熱を加えてできるキーホルダー

公民館主催講座の紹介 「子ども講座」を開催

8月21日(月)学童保育「くるみクラブ」で、「出前子ども講座」をしました。

夏休みの学童保育に小学生25人が参加し「パルンスライム」と「プラホ



▲学童保育「くるみクラブ」で開催された出前子ども講座

町公民館 「郡公民館連合会研修会」

7月18日(火)町生涯学習センター・ホールで、平成29年度上益城郡公民館連合会研修会が開催されました。上益城管内公民館関係者など55人が参加しました。県教育委員会総括アドバイザーは、趣味・けいこ事に関する講座が多く、利用者が特定の方に限られる傾向があった。今後は、子どもや若者、働き盛りの世代を含め、地域住民が気軽に集えることが求められている」と訴えました。研修会の最後に、郡公民館連合会長が「公民館の役割で、学校、家庭および地域社会との連携が重要であることなど、活動のヒントをいただきました」と謝辞を述べました。

座は、趣味・けいこ事に関する講座が多く、利用者が特定の方に限られる傾向があった。今後は、子どもや若者、働き盛りの世代を含め、地域住民が気軽に集えることが求められている」と訴えました。研修会の最後に、郡公民館連合会長が「公民館の役割で、学校、家庭および地域社会との連携が重要であることなど、活動のヒントをいただきました」と謝辞を述べました。

「プラホビー」は、キャラクターや絵をプラスチック板にマジックで書いて、穴を開けてトースターで熱を加えてできるキーホルダーです。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

●7月28日(金)学校人権教育部会課題別研修会を開催

7月28日(金)甲佐小学校で、学校人権教育部会課題別研修会が開催されました。

同研修会は、同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題の解決に向けてすべての町教職員の基本的認識を深めることを目的に、甲佐町学校人権教育部会(松田秀喜会長)が開催。講演会と4つの分科会で実施し、町内の保育園の保育士や学校の教職員など101人が参加しました。

講演会では、講師の県立熊本工業



高等学校定時制教諭・猪股浩介さんが「家族のきずな」と題して講演しました。猪股さんは、1997年に南関町人権フェスティバルに向けて結成された人権バンドの活動を通し、人権について少し肩の力を抜いて考えてみよう、と、玉名・南関地域に勤務

していた小中高の教員5人でバンドを結成し活動をスタートされました。

参加者からは、「歌と語りを通して、障がい者差別、結婚差別、自分の心の中に差別があることなど、多くの話が聞けました」、「人権教育を通して、自分自身の生き方が問われていると感じました」などの感想が寄せられました。

●人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)

Library

町生涯学習センター図書室からの9月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第3木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

日時 9月21日(木)

午前10時30分

場所 図書室おはなしのへや

心にしみる人情ミステリーの傑作 道尾 秀介著 / 『満月の泥枕』



毎日新聞出版
小説

娘を失った男・二美男と、母に捨てられた少女・汐子は、貧乏アパートで、その暮らしの生活を送る。アパートの住人は駅アリアンばかりで、ひよんなことから不可解な事件に巻き込まれていくことになる…。笑いあり、驚きあり、涙あり。生の悲哀、人の優しさが心に沁(し)みる人情ミステリー。おすすめの一冊です。

やさしいファンタジーのお月見絵本 あまん きみこ文 / 『おつきみ』



ひさかたチャイルド
児童書

今夜は十五夜。えっちゃんはお月見の準備に大忙し。お団子をお供えてススキを飾ったころ、空に大きな雲が広がりました。このままではお月見ができないと、えっちゃんと飼猫のミウはおもちゃ箱にのって、大きな雲のでかぐもさんのところへ飛んでいくのですが…。やわらかな色合いがとても素敵なお月見ファンタジーの絵本です。

熊本・わさもん医師の「改革」 亀山 早苗著 / 『日本一赤ちゃんが産まれる病院』



中央公論新社
一般書

熊本城のお蔭元、熊本市中心部にある福田病院では、年間6,000人もの赤ちゃんが産まれている。理事長の福田茂綱(しげる)氏は「安心安全は大前提だが、幸せに産むことも大事なのではないか」という思いから、患者さんのために改革を続けてきた。「わさもん」医師の発想力と行動力に迫った、読み応えのあるノンフィクションです。

個性あふれる博物館を探検 三浦 しをん著 / 『ぐるぐる博物館』



実業之日本社
児童娯楽

博物館が大好きな著者が、興味のおもむくまま、全国の面白そうな博物館を訪ね、国立科学博物館をはじめ、めがねミュージアムなど、まじりに、ときに妄想を膨らませつつ、お宝や珍品に迫ります。人類史、鉱物、漫画、伝統工など、さまざまな世界の魅力を著者の視点を通じて楽しめます。好奇心とユーモア全開の胸躍るルボエッセイです。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

この本は、いわゆる世間一般的にいう「普通」ではない人間側の思考や行動を、その人物視点で描かれています。

36歳未婚女性の古倉恵子。大学卒業後も結婚や就職をせず、子供の頃から「普通じゃない」と言われ続けてきました。そんな古倉を唯一正常にしてくれるのが大学生の時から始めたコンビニのアルバイトでした。

今月の案内人



中島 健智さん
〔総務課〕

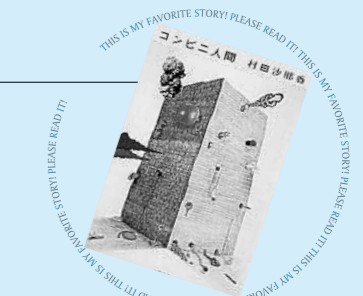
平穏なコンビニ生活を送っていたある日、婚活目的の男性、白羽がコンビニの新人アルバイトとし

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『コンビニ人間』(村田 沙耶佳著)
36歳未婚女性・古倉恵子。大卒後も就職せず、コンビニのバイトは18年目。これまで彼女なし。「普通」とは何か? 現代の実存を軽やかに問う衝撃作。

てやってきました。古橋に対し白羽はそんなコンビニ的な生き方は恥ずかしいと突きつけます。二人の普通じゃない考え方や生き方に、正直共感を感じず、全然幸せな気分にもなれません。

しかし、後半古倉の思いもよらない行動から起こる展開にどんどん引き込まれていきます。そして、衝撃の結末にあっけにとられると同時に古橋のコンビニアルバイトとしての矜持、労



働観に拍手を送りたくありません。著者の村田沙耶佳さんも、この本で芥川賞を受賞したとき実際にコンビニのアルバイトとして働いていました。

著者のコンビニに対する熱き想い、そして多くの古橋のようなコンビニアルバイトに支えられて世の中のコンビニは成立しているのだと実感できる本です。

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



はるた
本田 陽大 くん (2歳)
父・城光 さん 母・七光 さん
(緑町区)
じいちゃん、ばーちゃん、
いっぱい遊ぼうね

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先町総合保健福祉センター
☎096-235-8711

Child-Care

9月の子育て支援カレンダー

<p>○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	<p>○ 甲佐町子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305</p> <table border="1"> <tr><td>1日(金)</td><td>スタンプ遊び</td></tr> <tr><td>4日(月)</td><td>親子で読書</td></tr> <tr><td>6日(水)</td><td>散歩</td></tr> <tr><td>8日(金)</td><td>積み木遊び</td></tr> <tr><td>11日(月)</td><td>光で遊ぼう</td></tr> <tr><td>13日(水)</td><td>お誕生会 (要予約)</td></tr> <tr><td>15日(金)</td><td>おやつ作り</td></tr> <tr><td>20日(水)</td><td>折り紙で遊ぼう</td></tr> <tr><td>22日(金)</td><td>砂場遊び</td></tr> <tr><td>25日(月)</td><td>製作遊び</td></tr> <tr><td>27日(水)</td><td>陶芸教室 (要予約)</td></tr> <tr><td>29日(金)</td><td>お絵かき</td></tr> </table> <p>育児相談(電話・面接) 月～金曜日 午前9時30分～午後4時</p> <p>体験保育 月・水・金曜日 午前9時30分～正午</p>	1日(金)	スタンプ遊び	4日(月)	親子で読書	6日(水)	散歩	8日(金)	積み木遊び	11日(月)	光で遊ぼう	13日(水)	お誕生会 (要予約)	15日(金)	おやつ作り	20日(水)	折り紙で遊ぼう	22日(金)	砂場遊び	25日(月)	製作遊び	27日(水)	陶芸教室 (要予約)	29日(金)	お絵かき
1日(金)	スタンプ遊び																								
4日(月)	親子で読書																								
6日(水)	散歩																								
8日(金)	積み木遊び																								
11日(月)	光で遊ぼう																								
13日(水)	お誕生会 (要予約)																								
15日(金)	おやつ作り																								
20日(水)	折り紙で遊ぼう																								
22日(金)	砂場遊び																								
25日(月)	製作遊び																								
27日(水)	陶芸教室 (要予約)																								
29日(金)	お絵かき																								
<p>○ 若草保育園 ☎096-234-0013</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>																									
<p>○ 竜野保育園 ☎096-234-0519</p> <p>13日(水) お誕生会</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>																									
<p>○ 乙女保育園 ☎096-234-3947</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>																									
<p>○ 緑川保育所 ☎096-234-0789</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>																									

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

Health

町総合保健福祉センターからのお知らせ

地域の介護予防活動の広まりで 心身ともに健やかに

◆介護予防とは？

介護予防とは、寝たきりなどの介護が必要な状態にならないように心身の衰えを予防・回復しようとする取り組みです。

◆健康寿命とは？

世界一長生きの国を達成した日本です。平均寿命は、男性80・21歳、女性86・61歳です。健康寿命(健康で自立した生活を送ることができ期間)は男性71・19歳、女性74・21歳です。平均寿命と健康寿命の差(介護を必要とする期間)は、男性では

約9年、女性では約12年です。(出典・厚生科学審議会「厚生労働省2014年」)

◆地域での介護予防とは？

自分らしくいきいきと自立した生活を送り続けられるように「健康で長生き」がポイントになります。

介護予防に取り組むことで平均寿命と健康寿命の差を短縮することが期待できます。

また、社会参加は効果的な介護予防と言われており、人と人とのつながりを通して地域住民で健康づくりを行うことも大切です。

◆介護予防サポーター養成講座とは？

町では、平成27年度から介護予防のボランティア養成として「介護予防サポーター養成講座」を開催しています。

講座は年に10回あり、10回のうち7回以上参加されると介護予防サポーター認定証をお渡ししています。

平成27年度は86名、平成28年度は28名の方が介護予防サポーターに認定されました。

今年度の「介護予防サポーター養成講座」は、6月19日(月)に第1回の講座を開催しました。受講申込者は47名です。

◆養成講座の内容は？

内容についてご紹介します。1回あたりの受講時間は、午後

2時から午後4時までの2時間です。

毎回講義があり、本町の現状や地域包括ケアシステムについて、ロコモティブシンドロームについて、認知症や食生活についてなど、介護予防に関する内容です。

また、血圧測定や問診の実技演習があります。運動実技としては「なるなる体操」と、リストウエイト(錘)を利用して腕や足の筋力をつける「いきいき百歳体操」を取り入れています。

◆地域での介護予防活動とは？

この講座の内容は、自分自身が介護予防に取り組みたいときや、地域で仲間と介護予防活動を続けていくときに参考になると思います。

地域の公民館などで介護予防サポーターなどを中心に、筋力をつける体操や口腔体操などの活動に取り組みされている団体は、現在17団体ののぼり、町は今後も介護予防活動の支援を行っていきます。

◆取り組みで健やかに

「介護予防サポーター養成講座」から介護予防の輪が広がり、皆さんが心身に健やかに過ごされていくことを願っています。

あゆみだより 介護の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
古閑 裕子 保健師

現在、エアコンなどの普及によって、夏も快適に過ごせるようになった反面、大人も子どもも夏バテになりやすい身体になっています。適切な食事と睡眠、適度な運動と水分補給を心がけて、夏バテにならないよう気をつけましょう。

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先
・町総合保健福祉センター
・町地域包括支援センター
(町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8711



お知らせ

高額介護(予防)サービス費の基準が変わります

介護サービスを利用する場合にお支払いいただく利用者負担には、月々の負担の上限額が設定されています。高額介護(予防)サービス費は、1カ月に支払った利用者負担の合計が負担の上限を超えたとき、超えた分が払い戻される制度です。

高齢化が進み介護費用や介護保険料が増大する中、サービスを利用している方と利用していない方との公平性や負担能力に応じた負担をお願いする観点から、町民税が課税されている方がいる世帯の負担の上限が37,200円(月額)から44,400円(月額)に引き上げられます。介護サービスを長期に利用

している方に配慮し、同じ世帯の全ての65歳以上の方(サービス未利用の方を含む)の利用者負担割合が1割の世帯は、年間445,400円(37,200円×12カ月)の上限が設けられ、年間を通しての負担額が増えないようにされます(3年間の制限措置)。

お問い合わせ先
町福祉課
☎096-234-1114
(内線142)

臨時福祉給付金の申請は9月22日(金)までです

平成26年4月からの消費税率引き上げに伴い、所得の低い方々を対象に臨時的な措置として支給される「臨時福祉給付金(経済対策分)」の申請を、9月22日(金)まで受け付けています。申請通知書が届いている方で、まだ手続きがお済みでない

い方は、期限までに町福祉課窓口で申請をお願いします。
▼申請期限
9月22日(金)
▼お問い合わせ先
町福祉課
☎096-234-1114
(内線144)

熊本県戸建て木造住宅耐震診断士派遣事業について

県では、町民の皆様が安心して住み続けられる住まいの確保を図るため、目視および図面などで住宅の耐震診断をする戸建て木造住宅耐震診断士派遣事業を開始します。
▼対象住宅
次のすべてに該当するもの
①県内にあるもの
②戸建木造住宅
③現に住宅所有者が住んでいるもの
④在来軸組工法、枠組壁工法または伝統的工法によって建築されたもの

おれ

ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。町では、心温まるご好意を

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第48回～

「西福寺」 石坂 妙 町文化財保護委員 (吉田区)

西福寺は早川城跡北側の裾野(すその)にあります。この寺が創建されたのは、戦国時代の後半だと伝えられています。現在では考えられませんが、当時は九州の覇を競わんと弱者は強者を頼り、お互いをかばい合いながら、生き延びる世だったのでしょう。

寺を創建した早川(そうがわ)氏は元々渡辺という姓でしたが、この地に来た際に早川氏を名乗り、御船の甲斐宗運と一緒に矢部大宮司(阿蘇氏)の家臣として、相良氏や島津氏との戦いを繰り返していました。その中でも有名なものが天正8(1580)年の隈庄合戦だといえます。隈庄は古くから交通の重要拠点であったため、この地を巡っての戦いは熾烈(しれつ)を極めたそうです。この戦に出陣した渡辺吉久は、宇土の将と

刺し違えて戦死してしまいます。また、天正18(1590)年秋に島津の大軍が押し寄せると、早川一族は各地に落ち延びました。その中で幼少の矢部大宮司を連れ出し、生き延びさせたのは渡辺吉次でした。吉次は島津の追手と戦い、戦死しましたが、西福寺は吉次を弔うために吉次の兄が後に建立したものと伝えられています。

現在も昨年の地震で少し被害を受けましたが、由緒ある寺として存在感を示しています。



早川にある西福寺

お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447 (内線322)

町公式ウェブサイトを「ふるさと納税」ページ
http://www.town.kosai.kumamoto.jp/q/view/102/233.html

町振興のために大切に使用していただきます。引き続き多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。
▼ご寄付いただいた皆様
お名前 住所
・川口 総子 愛知県
・松下 典正 東京都
・岩永 博美 栃木県
・前川 由美 神奈川県
・近藤 康介 大阪府
・小林 良之 埼玉県
・隅川 智宏 福岡県
・坂口 時彦 大阪府
・佐々木 義人 福岡県
・藤井 捷 愛媛県
・荒川 昌敏 神奈川県
・小高留理子 千葉県
・荒井 翔馬 北海道
・相生チカ子 兵庫県
平成29年度寄附金額合計
4,358,000円
(7月31日現在)
▼お申し込み・お問い合わせ先
町総務課
☎096-234-1140
(内線224)

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量 (7月分)

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	162,940	△87,000	△13,510
資源ごみ	26,340	1,770	△3,910
粗大ごみ	4,590	△930	△2,050
合計	193,870	△86,160	△19,470

※単位：kg

traffic safety

交通事故件数

種別	発生件数	前年比較
事故件数	13	(△1)
死者	0	(0)
傷者	20	(0)

8月15日現在 (カッコ内は前年比較)

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	2	(1)
原野	0	(0)
その他	4	(4)
合計件数	6	(5)

8月15日現在 (カッコ内は前年比較)

doctor

日曜当番医

月日	当番医	電話番号
9月3日	荒瀬病院	☎096-234-1161
9月10日	谷田医院	☎096-234-1248
9月17日	甲佐眼科クリニック	☎096-235-5600
9月24日	荒瀬病院	☎096-234-1161

tax

町税などの滞納処分(7月分)

種別	件数・金額など
捜索	0件
差し押さえ件数	2件
交付要求	0件
取立・公売代金	30,000円

お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会 (町生涯学習センター)
☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家 (社)甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合 (クリーンセンター)
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111 (代表)
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111 (代表)

お知らせ

弾道ミサイル落下時の行動について

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、防災行政無線で放送されるほか、携帯電話会社が提供する緊急速報メールなどで通知されます。その際は、落ち着いて次の行動をとってください。

▼屋外にいる場合

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難する。
・近くに適当な建物がない場合、物陰に身を隠すか、地面に伏せ頭部を守る。

▼屋内にいる場合

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

詳しくは、国民保護ポータルサイト (http://www.kokuminhogo.go.jp/) をご覧ください。

▼お問い合わせ先

町くらし安全推進室
096-234-1167 (内線241)

屋外広告物の設置許可について

店舗などの所在を知らせる

ためや宣伝のため、立看板、はり紙、のぼり、広告塔、屋上広告、壁面広告などの屋外広告物を設置する場合は、自己の土地や建物などであつても、原則として事前に許可を受ける必要があります。

また地域ごとに、広告物の種類や表示できる面積、広告物の設置が禁止される物件などの基準がありますので、申請に際しては、「きちんとルールを確認していただくこと」、「まわりの景観への影響を考慮していただくこと」、「老朽化や破損などによる事故が起きないように定期的に点検を行っていたいただくこと」などを願います。

▼お問い合わせ先

県上益城地域振興局土木部
0967-72-1109

e開催

笑顔ヘルシロキャンペーン 無料歯科健診を開催

上益城郡歯科医師会では、10月29日(日)に「笑顔ヘルシロキャンペーン」を実施します。

当日は、歯科健診や相談を無料で行うことができます。また、ご来場の方全員に、歯ブラシ、歯磨き粉、風船、おもちゃなど、多数の景品を無料で差し上げます。

▼開催日時

10月29日(日) 午前9時〜午後4時

会場 パークドーム熊本(熊本市東区)

お問い合わせ先 県人権同和教育課
096-333-2702

午後4時

会場 イオンモール熊本店内1階催事場(嘉島町)

▼お問い合わせ先

◎上益城郡歯科医師会会員

各町内歯科医院

・清村歯科医院

096-234-3773

096-235-1118

096-234-0012

県人権子ども集会のお知らせ

部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくし、人権が共存する人権尊重社会の実現を目指して行われる集会です。

県内に在住する児童生徒および教育関係者などが参加し、子ども実行委員の運営により、体験・活動報告や全体活動などが行われます。皆さんのご参加お待ちしております。

▼開催日時

10月14日(土) 午前10時〜正午

▼会場

パークドーム熊本(熊本市東区)

お問い合わせ先 県人権同和教育課
096-333-2702

第42回甲佐10マイル大会は12月3日(日)開催

10マイル(約16.09km)のタイムを競う熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会は、有力実業団からトップランナーが多数出場する日本有数の10マイルレースです。

冬の甲佐を舞台に競技者たちが、デッドヒートを繰り広げます。同日は、高校男子10kmの部、女子の5km部、中学男子5kmの部も開催され、コース周辺は、寒さをものともしないアスリートたちと声援を送る観衆たちで埋まります。

- ・10kmの部(高校男子の部)
・10マイルの部 国際競技者の部
・10マイルの部 一般競技者の部

■参加料

- ・一般男女(大学生も含む) 1,500円
・中学男女・高校男女 1,000円

※参加するための出場要件があります。詳しくは町公式ウェブサイトでご確認ください。

■参加申込締め切り

11月1日(水) 必着

●お問い合わせ先

熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会事務局(町社会教育課)
〒861-4607
甲佐町大字豊内719番地4
電話:096-234-2447(内線323)
メール:kousa10@room.ocn.ne.jp

■開催日

12月3日(日)

■主催

一般財団法人熊本陸上競技協会・熊本日日新聞社・熊本バス株式会社・甲佐町

■主管

町教育委員会・甲佐町体育協会・甲佐町陸上競技協会

■コース

日本陸上競技連盟公認コース(甲佐町役場前スタート/フィニッシュ:甲佐町芝原折返し)

■種目

・5kmの部(中学男子の部・女子の部)

Information

熊本地震に係る応急仮設住宅の入居申し込みを随時受け付けています

●応急仮設住宅の入居申し込みについて

応急仮設住宅について随時入居申し込みを受け付けています。応募要件および入居条件がありますので、事前にご確認ください。

■入居条件 被災証明書で「全壊」「大規模半壊」「半壊」で解体を行うなど

■受付時間 平日・午前8時30分から午後5時まで

■応募方法 町建設課にある応急仮設住宅入居申請書に必要事項を記入し提出してください。

■持参するもの ①罹災(りさい)証明書、②印かん

■お申し込み・お問い合わせ先

町建設課
電話096-234-1183(内線162)

操作)
健康相談・体力測定(保健師による健康相談)
幼年消防クラブ園児が描いた消防の絵画展
ぬり絵・ペーパークラフトコーナー(消防車や救急車を作ろう!)

・スタンプリリー(先着200名)
・災害写真展示コーナー
お問い合わせ先
上益城消防組合消防本部
096-282-1969

「くまもと障がい者芸術展」を開催します

障がいのある方々が日ごろの活動の中で制作した絵画、書、陶芸、工芸などの作品に、制作者の日々の活動や作品に込めた思いを添え展示します。ぜひご来場ください。

▼展示期間
10月3日(火)〜9日(月・祝)

▼展示場所
県立美術館分館

▼観覧料
無料

▼お問い合わせ先
くまもとハートウィーク実行委員会

096-333-2235 (県障がい者支援課内)

Sports

第15回職場対抗ソフトバレーボール大会



優勝した緑風苑Bチーム

- 大会成績
・優勝 緑風苑Bチーム
・準優勝 商工会Bチーム
・敢闘トーナメント 優勝 谷田3Fチーム

- 主催
甲佐町バレーボール協会(芦原博幸会長)
●開催期日
7月20日(木)
●会場
甲佐小学校体育館

お知らせ

熊本地震に係る介護保険料
無料免除期間終了について

平成28年の熊本地震で被災を
され、住家が全半壊など一定の
要件を満たす場合、申請により
「介護保険利用料免除証明書」
を介護サービス事業所などに提
示することにより介護保険利用
料が免除となっております。

町では、熊本地震によって被
災を受けた介護サービス利用者
の負担軽減を図るため、国から
特例で財政支援を受けて利用料
免除に取り組んできましたが、
本年10月以降については、その
財政支援が打ち切られる予定と
なりました。このため、9月30
日(土)をもって、介護保険利
用料などの免除措置期間は終了
します。10月1日(日)以降利
用する介護サービスについては、
利用料の自己負担が必要になり
ます。利用料免除につきまして、
皆様のご理解をよろしく願ひ
します。

▼免除措置期間終了日
9月30日(土)
▼お問い合わせ先
町福祉課
☎096・234・1114
(内線142)

就業構造基本調査に
ご協力ください

就業構造基本調査は、統計法
に基づき「就業構造基本統計」
を作成するための統計調査であ
り、国民の就業および不就業の
状態を調査し、全国および地域
別の就業構造に関する基礎資料
を得ることを目的としています。
調査は、平成29年10月1日現
在で実施します。

平成27年国勢調査調査区の一
ち、総務大臣が指定する調査区
について、総務大臣の定める方
法により選定した抽出単位に居
住する世帯の15歳以上の世帯員
を対象とします。対象世帯には
調査員が訪問しますので、皆様
のご協力をお願いします。

▼主な調査事項
男女の別、出生の年月、教育
の状況、育児・介護の有無、雇
用契約期間、仕事内容、1週間
あたりの就業時間、現職に就い

甲佐町総合型地域スポーツクラブ
「I・YOU スポーツクラブ」
9月のアユスポ・カレンダー



ノルディックウォーク教室
赤星真二さん・永野淑江さん
(有安区) (西寒野区)

皆さんもノルディックで、
いい汗を流しましょう♪

●スポンジテニス&
バドミントン
甲佐小体育館
月曜日 午後7時30分

●少年柔道
甲佐中武道館「甲心館」
月・水・金曜日 午後7時

●卓球
町生涯学習センター・ホール
水・金曜日 午後7時30分

●サッカー教室
甲佐中グラウンド
木曜日 午後7時
甲佐小グラウンド
土曜日 午前9時

●バスケットボール教室
甲佐中体育館
火曜日 午後8時

●ジュニアバスケット教室
甲佐小体育館
水曜日 午後7時

●ノルディックウォーキング
教室
白旗小体育館
月曜日 午後7時

■お問い合わせ先
I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)
☎096-234-2447(内線325)

Information

甲佐蚤の市 ~ COSA NOMI-NO ICHI ~ 10月1日(日)開催

COSA NOMI-NO ICHI
甲佐蚤の市

2017.10.1.SUNDAY 9:30-16:00

at 甲佐町商店街(熊本県上益城郡甲佐町岩下) 雨天決行、荒天中止

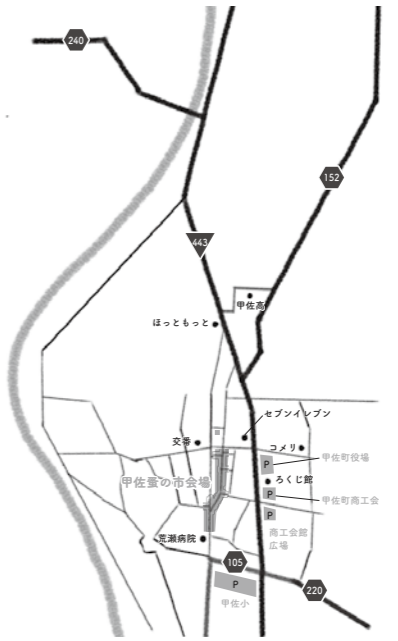
またまた、甲佐にやってきました。



交通アクセス

■お車で越しの方へ
熊本市内から約30分
御船I.Cより約15分
※駐車場をご利用ください。
・甲佐小学校、甲佐町高工会館、甲佐町役場、甲佐町高工会館にある空き地

■バスで越しの方へ
交通センターから甲佐まで、約1時間
【南15】【南23】甲佐行き「甲佐バス停(甲佐営業所)」下車 徒歩1分
交通センターより越しの際は、【南23】路線が最短となります
▶お問い合わせ先:熊本バス中央営業所 096-378-3447



お問い合わせ: 甲佐蚤の市 実行委員会
TEL 096-234-0272 FAX 096-234-0363
MAIL cosanominoichi@gmail.com
熊本県上益城郡甲佐町岩内719-2 甲佐町高工会
http://cosanominoichi.wixsite.com/cosa
f 甲佐蚤の市 @cosanominoichi

主催: 甲佐町高工会 後援: 甲佐町/甲佐町観光協会/甲南通り繁栄会/エビヤショッピングロード/中央名店街

●お問い合わせ先 甲佐蚤の市実行委員会(甲佐町高工会内) ☎096-234-0272 ■cosanominoichi@gmail.com

募集

「くまもと健康づくり応援
店」を募集しています

県では、健康づくりを応援す
る「くまもと健康づくり応援
店」を募集しています。

応募店には、県から指定書や
のぼり旗を交付し、県公式ホー
ムページやガイドブックなどで
お店をPRします。
指定は無料です。一緒に県民
の健康づくりを応援しましょう。
▼募集対象
飲食店、弁当・総菜店など
▼指定要件
栄養成分表示やヘルシーメ

☎096・234・1154
(内線236)

くらし安全

万引きは犯罪です

「たかが万引き」と軽く考え
ている人が少なくありませんが、
万引きは犯罪です(窃盗罪「10
年以下の懲役または50万円以下
の罰金」)。
万引きがばれたらお金を払っ
たり品物を返したらいいと軽く

考えている人もいますが、万引
きをしてしまった後では代金を
払っても品物を返しても罪は消
えません。また、万引きをした
物をもらう(買う)ことや万引
きをさせることも犯罪です。
万引きを「しない」、「させな
い」、「見逃さない」を徹底しま
しょう。

また、ちょっとした油断が招
く置き引き被害は、大切な荷物
や個人情報盗まれてしまい、
取り返しがつかなくなることも
あります。
日ごろから被害に遭わないた
めに意識して金品を守るように
心掛けてみましょう。飲食店や
ショッピングセンターなど荷物
を置いたままその場を離れない
ことが鉄則です。

▼お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)
☎096・282・1110
(内線261)

Event

町生涯学習センター図書室・展示イベントのお知らせ ~9月~

●「布の絵本」展示(チクチク会)

図書室では、「チクチク会」の皆さんが乳幼児の
ために制作された、ぬくもりのある手作りの布絵
本を展示しています。ぜひ、手に取って、布の感
触と絵本の楽しさを感じてください。



●お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
船津	仲原純ノ介	男	秀一
津志田	一圓 旭	男	仁
横田	鳥井 里杏	女	悟史
下横田	井元 悠仁	男	亮
津志田	石坂 滯	女	和弘

marriage ご結婚おめでとう

住所	氏名
夫 糸田 渡邊 貴史	妻 熊本市 祁答院亜矢
夫 麻生原 西村 太一	妻 美里町 坂口 幸海
夫 豊内 嶋津 祐太	妻 東京都 入江 宏美
夫 宇城市 江島 淳平	妻 吉田 米田 瑞穂

condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
中山	柳井 栄子	94	栄子
豊内	福島タツ子	89	タツ子
府領	舛永 啓一	78	都子
上早川	井藤ツル子	90	直行
田口	舛永 昭七	85	武己
安平	志免 富男	79	幸江
坂谷	坂田美智子	78	道春
緑町	富永 節	100	久美子
船津	伊佐ツイ子	89	真由美
南三箇	井手 哲男	80	綾子
岩下	本田 菜	83	輝雄

data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,131	9
女	5,752	3
計	10,883	12
世帯数	4,297	8

平成29年7月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)

サンマとナスの煮つけ

ご存知ですか?

ナスの旬は7~9月で、夏を代表する野菜です。アントシアニンが含まれていて、抗酸化、血栓の防止、目の疲労回復などに効果があります。体を冷やす効果があるので、暑さの予防策としておあめ。血糖値の抑制、糖尿病や肥満の防止効果などに役立つ栄養が盛りだくさんです。



材料(4人分)

- サンマ 4尾
- ナス(小) 4本
- すりゴマ 大さじ3~4
- 水 1.5カップ
- しょう油 50cc
- ショウガ 少々
- サラダ油 大さじ2
- 赤酒 大さじ2

作り方

- ①サンマは頭と尾を取り除き、4等分してワタを抜き、きれいに洗って水気をとります。
- ②ナスは各1本を縦に4等分し、さらに半分にする。
- ③フライパンに油を熱し、ナスを炒め、いったん取り出します。
- ④③のフライパンにAを入れ、煮立てから①のサンマを入れ、ふたをして5~6分煮ます。
- ⑤④に②を加え、汁気がなくなるまで煮ます。火を止めたらすぐにすりゴマを入れ、ひと混ぜしたら出来上がりです。

編集後記

酷暑と大雨が混ざり合う、不安定な天候に覆われた今夏。全国では被害に遭った地域もあり、本町も厳しい暑さと激しいゲリラ豪雨に見舞われました。

夏休みを機に成長する子どもたち。町の事業は天候に恵まれ、子育て学習や自然体験など盛りだくさん。夏の思い出を糧に実りの秋へと向かうことでしょうか。時期を同じくして、特集で紹介した「こうさでんプロジェクト」も開催。地域の宝と魅力をつなぎ、町内外の皆さんが交流人口増対策案を出し合う試み。地域の方から町外の大学生までが地域を散策して、老若男女の幅広い視点で地域を楽しみながら交流するアイデアに頭をひねり、企画案を練り上げています。

夜長月とも呼ばれる9月の爽やかな夜。夏の思い出とともに地域の魅力に思いを巡らすひと時を過ごしてみませんか。(係)



8月4日(金)開催の「ハローBaby!」に参加した甲佐中生徒と1歳児教室に参加した皆さん(町総合保健福祉センター)

うたごよみ 長月

【短歌】 渡辺幸士選

この暑さ熱中症になると言い回覧板は夜に回せり
打ち水や風鈴下げし昭和の世暑き中にも涼しさのあり 緒方 明美

娘婿暑い最中にやって来る冷たい敷布・布団みやげに 赤星 文子

夏祭り色とりどりの浴衣着て花火に浮かぶ少女眩しき 池田キヨ子

山幾つ隔てし里の夏祭り花火の音を懐かしく聞く 塚原 曉益

祭壇であなたあなたと話したいと遺影の友は笑み浮かべおり 吉永由紀子

堀超えて黒猫庭を通り行く何時もの様に行方は知れず 上村 かず

在りし日の妻と歩き散歩道緑の風に心を癒す 白梅 武人

小雨降る夜空に光る大花火吾は濡れつつ暫し見惚れる 上村やす美

古書店の隅で立ち読みする吾に「情婦マン」が微笑みかける 渡辺 幸士

【川柳】

【靴下】

靴下の穴に苦勞がにじみ出る 林 雅之

靴下の穴開き繕う母思う 古閑チヨミ

靴下の破れ直してひと休み 森田千鶴子

特売の靴下柄は我慢する 清川みどり

【配る】

気配りの見える嬉しい配り物 日隈 俊郎

ケアハウス気配りされる感謝のみ 川田トメ子

遠来の土産を配り孫自慢 布田 愛子

嫁姑慣れぬ気配りして疲れ 渡辺 幸士

【肥後狂句】

北川直美選

似た者夫婦 パチンコ打って涼うどる 広田みどり

似た者夫婦 演歌の曲でうなり出す 下山 千恵

似た者夫婦 欲と道連れがまださす 志垣 光

似た者夫婦 牛は牛連れ良く言うた 佐藤 葵

似た者夫婦 胡椒ジャンジャン振り掛くる 布田かんな

似た者夫婦 喧嘩も派手で見ちゃおれん 平井やよい

似た者夫婦 仕事嫌いの渡世下手 長原 産賀

似た者夫婦 喧嘩しいしい許しあい 佐野しゅう

似た者夫婦 口車にも気がつかん 光永 六

似た者夫婦 並んで眠る寝顔まで 井元あさみ

似た者夫婦 二人でやっど一人前 日高 美里

似た者夫婦 味もそっけもない二人 上田 梅清

似た者夫婦 だけん離婚が切り出せん 日隈 元良

似た者夫婦 飯の菜アより花の苗 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447(内線321)

毎日練習したスマッシュで 卓球全国大会に初出場

「初めての全国大会出場で
わくわくしました。ゲームで
は、相手のスマッシュを止め
るブロックも決められて良
かったです」と大会を振り返
るのは、柴田涼成くん（糸田
区・白旗小2年）。



柴田 涼成くん
Shibata Ryousei

〔糸田区〕

しばた りょうせい / 卓球選
手。白旗小2年、東熊本ジュ
ニア所属。小学1年生から卓
球を始め、今夏に県代表で全
日本卓球選手権大会に初出場。

4月に開催された県大会バ
ンビの部（1・2年生の部）
で4位に入賞して、7月に兵
庫県で開催された全農杯平成
29年度全日本卓球選手権大会
に初出場を果たした。
卓球との出会いは、母親が

プレイしていた卓球クラブに
体験で参加したのがはじまり。
祖母も卓球に親しむ影響を受
けて、ラケットでボールを打
つ楽しさに引き込まれ、小学
1年生のときにクラブに入会。
体操やスイミングなどにも以
前は取り組んでいたが、今で
は卓球の面白さに魅せられて、
熊本市東区にあるクラブ練習
場に平日は毎日通う。
クラブでは午後6時から午

後8時まで基礎練習やゲーム
に励んで連日約1,000球
以上は打ち込み、週末は各地
の大会に出場して腕を磨く卓
球漬けの日々。卓球台がない
自宅でもラケットを握り、
サーブの練習や壁打ちなどに
も楽しく取り組む。

「スマッシュをゲームで決
めることが好きです」と話す
柴田くんの卓球は、粘り強く
攻めるスタイル。目標とする
好きな選手は、世界で活躍す
る若手のホープ・張本智和選
手。「バックもフォアも上手
なところ」にあこがれる柴田
くんについて、「攻める気持
ちを試合で切らさずに、集中
を保って粘ってボールに向か
えば、もっと上手くなる」と、
コーチはアドバイスを送る。
初めて出場した全国の舞台
では、残念ながら予選リーグ
で敗退するも「サーブやドラ
イブなどをもっと練習して、
また全国大会に出てみたいで
す」と柴田くん。県大会突破
に向けて、鋭いステップと素
早いフォームで、打ち込まれ
たボールに向かってラケット
を強く振り切る。